

## 川上村認知症対応型通所介護施設建設基本計画（案） に対するご意見と村の考え方

No.	意見	村の考え方
1	畳スペース：階段1段階分程度（20数cm）の高さ（段）をつける。座る場所になる。背もたれがないので体幹筋力の向上につながる。立ち座りをするため、生活リハビリができる（座椅子を置けばゆったり座れる）。はっきりした段差なので転びにくい。手すりをつければ昇降に便利・安全。	共有スペース全体を考慮し、設計の段階で検討していきます。
2	冷暖房：地球温暖化による夏のさらなる気温上昇が考えられる為、エアコンは必須であると思います（停電など災害時の時のことも考えて検討）。	冷暖房については、設計の段階で検討していきます。
3	冬場の加湿：暖房の方法にもよりますが、室内で洗濯が干せるとよいのでは。	室内に洗濯物干し場を設ける予定です。場所については、設計の段階で検討していきます。
4	洗面所：立位で利用する人と車イスに座って利用する人がいる為、それぞれの人が使いやすい高さ・構造を検討して作ってほしいです。手洗いは、感染予防の基本。朝の来所時、食事やおやつ前後、トイレの後に必ず使うところです。	洗面所の高さ・構造については、設計の段階で検討していきます。
5	トイレの照明：人感センサーの照明にすれば「つけられない」、「消し忘れ」なく利用できます（スイッチに触らないので、感染症予防にもつながる）。	トイレに限らず照明については、設計の段階で検討していきます。
6	トイレの戸：絶対にやめてほしいのは、「カーテン」、「アコーディオンカーテン」の仕切り。引き戸にして中からカギがかかるけれど、外からも簡単に開錠できるものが良いと思います。	照明同様、トイレに限らず戸については、設計の段階で検討していきます。
7	浴槽・脱衣所：とにかく寒くないような設備が必要。取付手すりや浴槽手すり（取りはずし可）、すべり止めマットがあつて、浴槽片側に座るスペースがあれば、浴槽ボートの代わりになりそうです。	浴槽・脱衣所においては、特に寒くならないように配慮が必要と考えます。設計の段階で検討していきます。
8	村内には入所施設がないため、長期入所や老健でのリハビリだけでなく、短期入所・ミドル入所（農繁期）も他市町村の施設利用になっています。認知症対応型通所介護施設⇒入所が必要な状態になっても、川上村の中で住んでいられる施設があると良いと思います。	高齢者等が今後も川上村で暮らしていくために、どのような施設等が必要か引き続き検討していきます。
9	施設は上地区にあるとよいが、送迎体制を整備することにより、ヘルシーパークの近くに建設されることもよいといえる。ヘルシーパークと連携がとりやすい。	認知症の方の特性を考慮し独立性を確保したうえで、ヘルシーパークかわかみ等の周辺施設が充実している旧第一保育園跡地へ設置する予定です。
10	認知症の当事者の声、家族の要望を把握しながら具体化してほしい（当事者の願いとして、畑仕事・室内での創作活動など一人ひとりの希望を活かす等）。	意見を聞く場をもうけ、設計の段階で検討していきます。
11	介護にかかわる職員にとって働きやすい設備・環境に配慮してほしい（乾燥機の設置も必要でないか）。	意見を聞く場をもうけ、設計の段階で検討していきます。
12	介護にかかわる専門職の配置が充実できるように村全体での財政確保をしてほしい。	村全体の課題として、検討していきます。
13	地域住民の認知症への理解をすすめることが課題となってくる。村民むけのさまざまな企画を検討していただきたい（講演会・映画上映・相談窓口の設置など）。	現在、講演会や映画上映を行っています。今後も引き続き行っていきます。